



中央社保協 News

「いのち・暮らしまもれー安全・安心の医療・介護を」大運動推進中

2015年9月28日
〈発行〉
中央社会保障推進協議会
TEL 03-5808-5344
第15-04号

第43回中央社保学校に参加して 安倍独裁政治ストップの展望を学ぼう！

9月19日未明に、安全保障関連法(戦争法)が参議院で強行採決されました。国民の6割以上が「国会成立に反対」し、8割以上が「説明不足」としている法案を、国民の声を無視し数の力での強行でした。いま、各界・各地で戦争法廃止を求める怒りの声は広がり続けています。

安倍首相は「アベノミクスは第2ステージへ」と述べ、「強い経済」「子育て支援」「社会保障」を新たな「三本の矢」とし、「出生率1.8」の実現や「介護離職ゼロ」に向けた「介護施設の整備」「介護人材の育成」を強調しました。しかし、介護離職の原因となる低賃金や報酬引き下げには全く触れておらず、社会保障の自然増削減の「骨太の方針」とも矛盾するものです。

「第43回中央社保学校」への 参加組織を！ 締切は10月8日

このような情勢のもとで10月15日(木)～17日(土)に神奈川県「ワークピア横浜」で第43回中央社保学校が開催されます。「今こそ出番」の社保協の活動をさらに広げ、安倍独裁政治ストップへの展望をしっかり学び、交流しましょう。



今回の社保学校は、初日に堤未果氏の講演で安倍政権がめざす「基地の県内移設反対」と米軍キャンパス(沖縄県辺野古)に座込む県民たちを実態を学び、戦争法可決とともにすすめられる沖縄の基地強化の実態とオール沖縄のたたかいを宮城栄作沖縄タ

イムス東京支社報道部長からの講演を受けます。

2日目は、神奈川県労連住谷事務局長「最低賃金裁判と社会保障」、渡辺治一橋大学名誉教授「戦後70年・岐路に立つ日本の平和・憲法・社会保障」の講演、午後には「社会保障解体を許すな！安全・安心の医療・介護の実現を」のシンポジウム、岡崎祐司佛教大学教授をコーディネーターに行ないます。

最終日は、芝田英昭立教大学教授を講師に「社会保障基礎講座」と現地フィールドワーク「横須賀軍港めぐり」です。

今の情勢から求められる課題を深め、戦争法の実態を現地で学ぶ魅力いっぱいの企画です。350人の参加目標に対して、現在16県から90人です。各県・団体での参加組織を強めてください。

第43回中央社保学校のプログラムと参加申込書は中央社保協ホームページからダウンロードできます。

東京の各団体に申入れ「タイムリーな企画」「参加よびかける」と好評

9月28日、寺川代表委員と前沢事務局次長は「中央社保学校への参加要請」で東京の各団体回りを行ないました。

東京地評の松森事務局長、東京民医連の今井事務局長・北村副事務局長、年金者組合東京都本部の金子委員長、新婦人本部の新田会長など、対応していただいたところでは「タイムリーな企画」と好評で各組織の会議での衆知と参加組織を訴えると約束してくれました。